

ひだまり



宮城県立がんセンターボランティア「ひだまり」平成19年10月15日 発行
編集責任者 「ひだまり」編集委員会

「ひだまり」の活動によせて

この野田山にも秋の気配が感じられるように、ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。

がんセンター事務局長 北 廣信

ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。

ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。

ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。

ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。ボランティアの活動が、患者さんにとっての大きな支えとなっている。

特集 ～体験ボランティアについて～

私たち「ボランティアひだまり」は、平成12年から活動してきました。

今回は、これらの活動を理解し医療をめざす学生の方がたに、病院ボランティアを知っていただくため、体験ボランティアを募集しました。

7月23日～7月31日は一般・高校生・15名、8月8日～8月10日は宮城大学生・38名の方がたがボランティア活動を体験されました。

その結果のアンケートやまとめを報告いたします。

体験ボランティア 活動日誌から

○月○日

移動図書としおり作りを行ないました。移動図書では患者さんと少しお話をし、雰囲気を感じることができました。

また、しおり作りでは、作ったしおりが誰の手に渡るかわかりませんが、よろこぶ顔を想像しながら自分なりに頑張って作りしました。(斎藤)

○月○日

受付案内では、聞かれても分からないことがあり、とまどいしましたが、あいさつを笑顔で返してくれた患者さんが多く、明るい気持ちになりました。

(佐藤)

○月○日

以前、医療にはボランティアが深く関わることを知り、とても驚きでした。今回、自分自身がボランティアを体験して、とても重要な役割なのだ実感しました。

今回だけで終わらせるのではなく、これからもかかわっていきたくと思いました。(須田)

○月○日

今日は緩和ケア病棟に行って、患者さんに昔ばなしの朗読をしました。

患者さんがうなずいて聞いてくださっている姿が、とてもうれしかったです。短い時間でしたが、充実した時を過ごすことができました。(菌部)

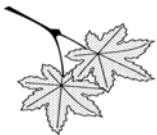


お知らせ

1階外来にボランティア募金箱を設置いたしました。ボランティア活動費の一部として、使用いたしますのでご協力をお願いいたします。

蓮 厄除けの花の吊るおすはり赤な舟め辛ぐり
俳句

(秀子)



- ① ボランティアを経験していかがでしたか？
・良かった 100%
*以下アンケートに記入があった事項を簡単にまとめてみました。
- ② ①での良かった(理由)
- ・普段はできないいろいろな体験を楽しくできた 31名
 - ・親切に教えてもらいボランティア活動の大切さを理解した 6名
 - ・患者さんと触れ合うことができた 5名
 - ・緩和ケア病棟を知った 4名
- ③ 体験ボランティアの(目的)は？
- ・看護師をめざしているのがんセンターを知りたかった 18名
 - ・ボランティアに興味があった 17名
 - ・病院でのボランティアを体験したかった 11名
- ④ (問題点)
- ・特になし 40名
 - ・ボランティア室が狭いと感じた 2名
 - ・患者さんの質問にとまどった 2名
 - ・駅からセンターまでのバスが少ない 1名
 - ・体験ボランティアの実施時期や、受け入れ人数を再考して欲しい 1名
- ⑤ (感想と意見)
- ・とてもよい経験になったので、また参加してみたい 22名
 - ・ボランティアの役割の大切さを知った 13名
 - ・学校では学べない、人に対する気配りなどを勉強した 8名
 - ・長期の休みごとに、体験ボランティアを募集して欲しい 1名

コラム ひだまり

夏休みを利用して、学生さんが体験ボランティアに参加してくれました。男子高校生が参加したときは、「素晴らしいなあ」と、感心してしまいました。また、女子大学生お二人と移動図書をしました。雰囲気明るくなって楽しい気分です。患者さんに接することができました。

やがては、福祉の道に進んで行くと思われる学生さんたちを見て、明るくはつらつとしたパワーを感じながら私自身が元気になったように思いました。

これから、ますます高齢化社会が進み、介護、福祉の面が大切になってくると思います。体験ボランティアに参加された学生さんのように、これからの若い人たちがこのような仕事に興味を持って歩んでいる姿を見て、とても微笑ましく、また頼もしく感じました。

学生さんたちは、慣れないことで疲れたと思いますが、何かを得られたことと思います。

本当にお疲れ様でした。私自身もとても良い経験となりました。
(遠藤 文子)

編集後記

花壇の手入れをしていると、散歩途中の患者さんによく声をかけられます。「ご苦労さま。お花がきれいだね」「この花の名前はなんですか。」「ご苦労さま。お花がきれいだね」「この花の名前はなんですか。」「ご苦労さま。お花がきれいだね」

編集委員 (五十音順)

小林晴美 前田利子 佐々木サチ 鈴木文子 高泉武悦 寺田

ギャラリー・イベント予定

10/10～10/30 大宮ばあちゃんの色鉛筆画展
11/6～11/20 ひだまり絵手紙展
11/27～12/11 卓仙会書道展
12/18～1/8 ひだまり染色展



11/16 第30回ロビーコンサート (今野末治・演歌)
12/21 第31回ロビーコンサート (寒河江知子・ソプラノ)